

集計

日本理化学協会

平成28年度大学入試センター試験問題（本試験）に関するアンケート

※記述は枠を縦に広げて
結構です。

回答都道府県		宮城県					
回答校数		29					
回答数		29					
回答する科目(物理基礎, 物理, 化学基礎, 化学)を 教えてください。		4 : 化学					
1	試験問題の程度(難易度)は全体として適切です	1 やや難	23	2 適当	6	3 やや易	0
2	試験問題の設問数は適切ですか。	1 やや多	16	2 適切	13	3 やや少	0
3	試験問題の形式は適切ですか。	1 適切	27	2 不適切	2		
4	出題分野のバランスがとれていますか。	1 とれている	26	2 いない	3		
5	試験問題の中で難易度の高過ぎると思われるのはどの問ですか。	<p>第1問 問3 分圧の問題に飽和蒸気圧を絡めるとやや難易度が高いと思われる。 第2問 問4 (10人) 計算問題が11題と多すぎる。第2問では6題中5題がそうであった。特に第2問 問3と問4は2次試験で出題されるような内容であったと思う。第6問 問2はエステルについて、第7問 問2は裾結合について理解していれば、細かい知識がなくとも解ける問題だが、センター試験では難しく感じた。 電離平衡定数を理解し、正確に計算しないと正解できない。 弱酸と強酸の混合物の平衡を考える問題は難易度が高い。うまく近似して処理する知識も必要になる。 おもしろい問題だが、センター試験としては少し難しい おそらく化学が得意で、電離平衡についてしっかりと理解が深まっていた生徒以外は解けなかっただろう。</p> <p>第2問 問5 第2問 問6 第3問 問3 第3問 問6 (2人) 単に複雑なモル計算。問3bがあるのでいい。 第4問 問3 (2人) 第4問 問4 (2人) 二重結合が複数ある場合の幾何異性体の問題は教科書にもなく解くのに時間がかかる。 第4問 問5 第5問 有機化合物 第7問 問2 (3人) 水素結合の働いている様子を塩基の構造を見ながら推測するのは難しいと思われる。</p>					
6	試験問題の中で難易度の低過ぎると思われるのはどの問ですか。	<p>第1問 問1 化学基礎の範囲であり、かつ簡単な内容である。 第4問 問1 第4問 問3</p>					

7	試験問題の形式が適切でないのはどの問ですか。	<p>第2問 問3 第3問 問6 計算がかなり大変 第4問 問4 (2人) 第5問 (2人) 昨年と出題形式が変わった。新課程となり、昨年度の形式を打ち出すにも十分吟味をしたはずである。数回行って検証した後、出題形式を変更するべきではないだろうか。新課程となり受験生の負担が増えており、現役生にとっては厳しい。 これがあるなら選択問題は不要。位置づけがない。 第7問 問2 (3人)</p>
8	学力を見るのによいのはどの問ですか。	<p>全体的に学力を測るのに良い問題だと思います。 第1問 第1問 問2 (2人) 第2問 問4 (5人) 第2問 問5 (10人) 平衡の移動と量的関係をしっかりグラフから読みとらせている。 第2問 問6 (4人) 酸化還元の基本がしっかりできていないと解けない 第3問 問2 第3問 問3 (2人) 学力は特定の間によって判断されるのではなく全体を総合して判断されるのだと思う。問いかけの意図が分からない設問である。 どの問題も良問と思うが、第1問の間4は教科書の章末問題にあるような問いで、教科書の図を良く理解していなければならない。このように、教科書をまんべんなく把握している必要がある。 第3問 問4 第3問 問5 (2人) 大学入試でよく見る問題であるが、分離されるイオンや金属塩を問うのではなく、操作の詳細まで学習していないと回答できなくなっているから。操作の細かい点まで理解していないといけない。 第4問 問2 第4問 問4 (3人) 第4問 問5 (2人) 正確な知識と、問題文から情報を読みとって判断する力が必要な間いだと考えられる。 反応式の知識だけでなく与えられた条件を良く考えなければ解けない問題だから。難易度はやや高いが判断力が必要な良い問題だと思う。 第6問 第7問 問2 DNAの塩基の構造を知らなくても、うまく水素結合をする組み合わせを発見できれば解ける問題で、課題解決能力が要求される。</p>

<p>9 そのほか、試験問題に関する意見がありましたらご記入ください(列挙いただいても結構です)。</p>	<p>計算量が多く、試験時間内に解答するには相当練習が必要である。 問題数が多く、難しい問題も中にはあるため、難易度は高かったように思われる。 (2人) 思考力を見る問題が多くなり、力を見るためにはよいが、計算も割り切れなかったりして時間がかかる上に、考えさせる問題が多く、受験生にとって難しかったという意識が強いことが、平点が低いことからわかる。時間配分をもう少し考え、問題数をもう少し減らしてほしい。 高分子は3年の最後に履修する分野である、演習などの時間を考えると問題数が多く、難しい。 思考力を見る問題が多くなり、力を見るためにはよいが、計算も割り切れなかったりして時間がかかる上に、考えさせる問題が多く、受験生にとって難しかったという意識が強いことが、平点が低いことからわかる。時間配分をもう少し考え、問題数をもう少し減らしてほしい。 計算問題が多く時間内に解くことが難しい。 解答時間が足りなかった生徒も多いのではないかと思う 計算の量が多すぎると思う。時間内で処理するのは難しい。 時間内に解答するのが難しい計算量であった。 大問構成について、昨年新カリキュラム先行実施一年目で特に問題なかったかと思われるので、今年度変える必要性があったとは感じない。 今までにないパターンの出題が増えて単なる知識や類似した問の演習のみでは対応出来ない問が多く思考力が試させるものが多かった。ただ、解答時間が足りないという意見が多く聞かれ、十分に解答できる設問数と難易度のバランスをとってもらいたい。 第6問と第7問を選択問題である必要があるのか。 計算問題が多すぎた 大問が1つ増えたことにより、問題の内容がやや希薄になった感がある 問題の切り口や問い方が面白いものがあったが、センター試験であることを考えると、バランスが悪かったように思う。計算も多く、時間が足りなかったであろう。理科の中での平均点にばらつきが起きないよう共通理解を持ち、問題を作成してほしいと思った。 若干応用的な問題もあるものの、学力を見るという点ではよい問題であると感じる。ただし、時間の割に計算量は多いと感じる。 概して良問が多い。新課程になり、範囲が大幅に拡大した。生徒の負担が増した。理科離れが言われている現在、負担増により、拍車がかかることが懸念される。選択問題があるのなら、最初から明記すべきだと思う。</p>
---	---

集計ありがとうございます。